手指から顔・全身へ広がった症状が治療後に落ち着き再燃時も短期間で軽減した成人アトピーの経過（55 歳 成人）

症例 ID：001-50-NY5　｜　記録日：2016 年 9 月 1 日

1. 診断・治療前経過

平成 19 年頃から左薬指にかゆみと浸出性症状が出て、夏ごとに再燃しました。徐々に小指や指間へ広がり、外用薬中止後 3 日ほどで再燃する状態となりました。

平成 24 年 7 月には顔、首、肘へ広がり、瞼の腫れと口周囲の乾燥がみられ、ステロイド外用・内服を使用しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	副腎皮質ホルモン外用薬と内服薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	平成 19 年頃から平成 24 年まで断続的に使用しました。
中止時期	平成 24 年 8 月の治療開始時です。
来院前／後	来院前に外用・内服歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
平成 24 年 8 月 8 日	治療開始	煎じ薬と外用処置を開始しました。
開始約 2 週間	症状の波 1	夜間のかゆみと赤みが強くなりました。
8 月末	改善傾向	指の赤みと乾燥が軽減しました。
その後	症状の波 2	日焼け後のようなつっぱりと痛みを伴う波がありました。
治療継続中	皮膚の変化	手指・顔・首の症状は徐々に軽減しました。
後年	再燃・再治療	一度落ち着いた後に再燃し、治療を再開しました。
記録時点	経過後	再燃時も以前より短期間で落ち着くようになりました。

4. ピーク時期

ピークは、平成 24 年 7〜8 月に顔、首、肘、指が赤く腫れ、強いかゆみと浸出性症状が出た時期です。

5. 困りごと

・瞼の腫れで顔貌が変わり、人前に出にくくなりました。

・手指の浸出性症状と痛みが繰り返しました。

・薬浴に長時間を要しました。

6. 経過のまとめ

治療開始後、手指・顔・首の赤みと乾燥は徐々に軽減しました。

後年に再燃して治療を再開しましたが、以前より短期間で症状が落ち着く変化がみられました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。